

自主学習のすすめ＜小学校 図画工作科(例)＞



1 例『おはなしをよんで えをかこう』（1年生・絵画）

※物語「はなさかじいさん」より

2 ねらい 物語を読んで、イメージしたことを描く。

3 準備物等 画用紙、クレヨン等の描画材

4 活動の流れ・手順

★…指導上の留意点、配慮事項等

①物語を読む（または、読み聞かせる）。

②自分がイメージした絵を描く。

★画材は子供が使いやすいものを選ばせる。また、彩色が苦手な子供は鉛筆や黒マジック等モノクロで描いても構わない。

③画面全体のバランス（構成）を見て、完成させる。

★時間が経過して、本人が「もう一度手を加えたい」と思ったら、再度チャレンジさせる。※“つくり、つくりかえ、つくる”という調整力を養わせる。

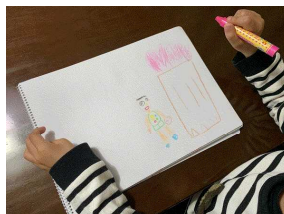
5 備考（評価について）

例示された作品内の家は、大昔の家の姿ではなく、現代風の家（西洋式のドアがあるなど）で描かれている。その部分を指摘し修正を促すのではなく、あくまで自分の想像だけで描いたことを賞揚するとよい。

①



②



③



1 例『カラフルなおくりもの』（3年生・立体）

2 ねらい 身の回りにある材料を組み合わせ、立体物を作る。

3 準備物等 色紙、花紙、毛糸、透明なビニール袋、輪ゴム等

4 活動の流れ・手順

①身の回りの材料を集める。

★市販の整った材料でなくても構わない（広告紙等）。あくまで、自分の好きな材料を選ぶことで、個性的な作品ができる。

②透明なビニール袋に多彩な色の材料を詰め、その大小様々な袋を自由に組み合わせる。

★製作過程を大切にす。イメージに近づけるよう試行錯誤する姿を賞揚する。

③組み合わせたものに装飾を施し、完成させる。

5 備考（その他）

・余った折り紙等で何か別のものを作る子供がいるかもしれない。子供の発想は自由。

・題材から少し飛び出した作品も褒めて、認めて、励ますとよい。

①



②



③



※+α

